

はじめに

青年前期（中学生）から青年中期（高校生）は、思春期の混乱から脱しながら心理・社会的な自立をとげて大人の仲間入りを目指していく準備期間でもあります。

ところが、この自立の過程で立ち止まってしまう子ども・若者がいます。友人関係や学校生活でのトラブル、家庭環境の変化など、その要因はさまざまです。

なかには、「不登校」や「ひきこもり」状態となり、学校や職場から離れてしまったり、親や周りの大人への反発から「非行」に走ってしまったりすることもあります。今まで気がつかなかった「発達障害」が原因だったりすることもあります。

いずれの時期においても、我が子の苦しむ姿を見る親は、何をしてあげられるかを考え、その悩みは尽きません。親子の苦しみは長引き、深まるばかりです。

このような状態の子ども・若者が一歩前へ動き出すには、出来るだけ早く、適切な相談・支援機関を利用することが望ましいと考えます。

この支援ガイドは、「不登校・ひきこもり状態」などにある子ども・若者を、どのような支援につなげていったらよいかをまとめたものです。

群馬県子ども・若者支援協議会





1 不登校・ひきこもり

- (1) **学校に相談する【不登校】** 1・2
- (2) **地域の窓口**に相談する【不登校・ひきこもり】 3・4
 - ・教育委員会
 - ・行政の相談窓口
- (3) **専門機関に相談する** 5・6
 - ・医療機関
 - ・児童相談所
 - ・ひきこもり支援センター
 - ・法務少年支援センターぐんま
- (4) **民間団体による支援** 7・8
 - ・親に対する支援
 - ・本人に対する支援（子ども・若者の居場所）

2 特別の支援を必要としている場合

- (1) **本人に適した「学びの場」を選ぶ** 9
- (2) **発達障害の専門機関に相談する** 10
- (3) **民間の取組** 10

3 その他

- (1) **社会生活や対人関係の悩みがある場合** 11
 - ・青少年の悩みを相談する
- (2) **家庭生活の悩みがある場合** 12
 - ・家庭の経済的な悩みを相談する
 - ・女性が抱える悩みを相談する

- 【対談】** 不登校・ひきこもり状態の子どもの理解と対応 13・14
- 【資料】**
 - 1 中卒後進路未決定者・高校中退者を支援しています 15~17
 - 2 支援機関連絡先一覧 18~23
 - 3 思春期・青年期の不登校・ひきこもり支援マップ 24